

子ども自然体験機会創出事業費補助金事業企画書

1 事業実施主体

事業者名称	株式会社 三重体験企画
代表者名	みえ たろう
	三重 太郎

2 事業内容

事業内容	事業費 (円)
①実施事業の名称 新たな自然体験プログラム「●●●」の造成・実践、ワークショップの受入環境の整備	・ 680,000 円
②連携先 (必要に応じて記載。) 株式会社 三重カヤック (シーカヤック体験のサポート)	連携先の役割も記入してください。
③具体的な事業内容 (子どもの体験プログラムおよびワークショップ受入環境を含めて記載すること。)	
(1) 子どもの体験プログラムについて 新しい生活様式に即した子ども向け体験プログラムとして、感染拡大防止対策を徹底のうえ比較的少人数によるシーカヤックとキャンプを組み合わせたプログラムを開発する。 具体的な内容は、	

(2) ワークーションの受入について

●名程度のワークーションの受入を想定し、通信環境を整えるとともに、机・椅子を購入する。

通信環境は、wifi の速度は 20Mbps 程度とし、.....

.....
.....
.....
.....

作業環境は、1 人 1 台の机に加え、共有の作業用机を用意し、.....

.....
.....
.....

3 事業区分毎の事業費

事業区分	積算根拠	事業費 (円)
1 報償費	シーカヤック体験のガイド報償費 3万円×2名×3日	180,000
2 旅費		
3 備品購入費		
4 消耗品費	Wi-Fi ルーター 10,000円 水中眼鏡 1,000円×10個=10,000円 魚捕獲網 3,000円×10個=30,000円 テント 30,000円×5張=150,000円 テレワーク用机 30,000円×3台=90,000円 テレワーク用椅子 10,000円×3脚=30,000円 パーテーション 20,000円×3個=60,000円	380,000
5 印刷製本費	パンフレット作製 (5,000部)	100,000
6 通信運搬費	インターネット回線工事 契約金額 1,000円 工事費 19,000円	20,000
7 使用料及び賃借料		
8 手数料		
9 委託料		
計		680,000
補助申請額		500,000

補助申請額の上限は 500,000 円です。

4 事業実施の必要性

これまで●年間にわたり、○○などの自然体験プログラムを提供してきたが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、▲▲のニーズが高まっていることから、△△に取り組むこととした。

具体的には、.....
.....
.....
.....
.....